

[講演要旨]

大沢家本願寺関係文書に記された安政東海・南海地震 その2

平井敬*(名古屋大学減災連携研究センター)

§ 1. はじめに

大沢家本願寺関係文書は、2020年1月、岐阜県在住の大沢喜久氏宅にて発見された1854年安政東海・南海地震および1855年安政江戸地震に関するまとまった量の史料である。西本願寺とそれに関係する寺院・人物により書き留められた記録の写しを綴じたものである。2021年、第38回歴史地震研究会にてその概要を報告した。本稿では、その後の翻刻の進展と内容整理の状況について報告する。

§ 2. 史料の概要

史料全体としては西本願寺と関係寺院・人物にかかわる記録を集めたものであるが、地震関係では1854年安政東海・南海地震に関する記録「諸国地震並津浪一件」一番から四番までの4冊と1855年安政江戸地震に関する記録「江戸地震大火一件」一番・二番の2冊となっている。

§ 3. 整理状況

現在、安政東海・南海地震に関する第1冊は翻刻が完了している。表1と表2に目録を示す。西本願寺と大坂津村御堂(北御堂)および末寺との往復書状で、各地の被害状況の報告や復旧費用の工面に関

する内容の書状が多い。下間少進法印(仲潔)・嶋田左兵衛権大尉(正辰)・富島頼母(武裕)といった当時の西本願寺の坊官の名が頻出しており、宗門の中枢による指揮の様子がうかがわれる史料となっている。

謝辞

大沢喜久氏には、大沢家本願寺関係文書の閲覧とデジタルスキニングを許可いただき、心より感謝申し上げる。翻刻と内容分析にあたっては、名古屋大学大学院人文学研究科の石川寛先生と名古屋大学減災連携研究センター古文書勉強会(大沢家文書研究会)の協力をいただいた。それぞれ、ここに記して感謝の意を表す。

表2 大沢家本願寺関係文書 目録(続き)

Table with columns: 番号, コマ数, 年月日, 新編換算年月日, 作成, 宛名, 備考, 書数, シリーズ名. Contains detailed entries for various documents and their locations.

表1 大沢家本願寺関係文書 目録

Table with columns: 番号, コマ数, 年月日, 新編換算年月日, 作成, 宛名, 備考, 書数, シリーズ名. Contains detailed entries for various documents and their locations.